

令和元年度2月補正予算の概要

京 都 市

今回の補正は、政府の「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」に伴う財源等を活用し、道路、橋りょう、河川の防災・減災対策や、学校におけるICT環境の充実等を実施する。

また、新型コロナウイルス感染症に対して、相談体制の強化等に要する経費を補正するとともに、緊急資金融資制度を創設する。このほか、見込を上回った後期高齢者医療療養給付費負担金や退職手当等の補正を行う。

更に、市税収入が予算を上回る見込みである一方で、地方交付税等の交付額が予算額を下回ったことによる収支不足を補てんするため、特別の財源対策として公債償還基金を当初予算計上額に追加して取り崩す。

1 補正予算の規模

(単位：百万円)

会 計 名	補正前の規模	補 正 額	補正後の規模
一般会計	796,850	6,107	802,957
国民健康保険事業特別会計	144,944	財源更正	144,944
介護保険事業特別会計	144,284	675	144,959
中央卸売市場第一市場特別会計	4,681	5,331	10,012
市公債特別会計	337,200	△ 670	336,530
今回補正しない特別会計	444,316	-	444,316
合 計	1,727,331	11,443	1,738,774

2 補正予算の概要

(1) 「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」を活用した事業の推進

一般会計 4,972,000千円

特別会計 5,331,000千円

(政府の経済対策を活用した事業(上記)の合計 10,303,000千円)

道路、橋りょう、河川の防災・減災対策等

GIGAスクール構想の実現(学校におけるICT環境の充実)

中央市場施設再整備事業 など

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

一般会計 1,020,000千円

(3) 社会福祉関連経費等の過不足調整など

一般会計 115,000千円

特別会計 5,000千円

障害者自立支援給付費、後期高齢者医療療養給付費負担金

生活保護費等の国庫支出金返還、退職手当、公債費(減額) など

3 補正予算の内容

(1) 「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」を活用した事業の推進

ア 一般会計 4,972,000千円

(建設局)

道路、橋りょう、河川の防災・減災対策等 2,172,000千円

防災・減災、国土強靱化のための緊急対策等を実施する。

- ・橋りょうの耐震補強・老朽化修繕（賀茂大橋・松尾橋等） 672,500 千円
- ・カルバート補修 86,650 千円
- ・横断歩道橋補修 19,125 千円
- ・道路に面する斜面等の防災対策（国道162号） 62,000 千円
- ・道路改良（国道162号（高雄工区）・桃山御陵前第2号踏切道） 56,500 千円
- ・街路整備（桃山石田線・大津宇治線） 367,390 千円
- ・交通バリアフリー対策（桃山駅駅前広場等） 384,335 千円
- ・都市基盤河川整備（七瀬川等） 279,000 千円
- ・公園整備（大宮交通公園等） 244,500 千円

(教育委員会)

学校施設環境改善 324,000千円

災害発生時に避難所となる学校施設について、快適トイレ改修工事や体育館屋根改修工事を行い、防災機能を強化するとともに学校施設環境の改善を図る。

GIGAスクール構想の実現 2,460,000千円

児童生徒1人1台PC端末の実現に向け、全ての市立小学校・中学校・高等学校・総合支援学校において、校内通信ネットワークを増強する。

(産業観光局)

就職氷河期世代活躍支援事業 16,000千円

就職氷河期世代に当たる方を対象とした相談や地域企業とのマッチングを実施するなど、就職氷河期世代に当たる方の地域企業への雇用を促進する拠点をわかもの就職支援センター内に設置する。

イ 特別会計 5,331,000千円

(産業観光局)

中央市場施設再整備事業（第一市場） 5,331,000千円

中央市場の施設整備について、令和2年度に予定していた新水産棟整備を実施する。

(参 考)

国の令和元年度補正予算（第1号）を活用した本市の事業について

国の補正予算を積極的に活用し、2月補正予算に計上するとともに、今年度の当初予算に計上していた事業についても追加で採択されるよう、国費の確保に努めた。

<国補正予算を活用し実施する事業>

(単位：百万円)

	事業費	国費	府費	市債	一般財源	備考
(1)2月補正予算に計上する事業【再掲】	10,303	4,025	93	6,181	4	
道路、橋りょう、河川の防災・減災対策等	2,172	1,081	93	998	0	
橋りょうの耐震補強・老朽化修繕	673	365	0	308	0	
カルバート補修	87	46	0	41	0	
横断歩道橋補修	19	10	0	9	0	
災害防除	62	31	0	31	0	
道路改良	56	30	0	26	0	
街路整備	367	192	0	175	0	
交通バリアフリー対策	384	192	0	192	0	
都市基盤河川整備	279	93	93	93	0	
公園整備	245	122	0	123	0	
学校施設環境改善	324	103	0	221	0	
G I G A スクール構想の実現	2,460	1,230	0	1,230	0	
就職氷河期世代活躍支援事業	16	12	0	0	4	
中央市場施設再整備事業	5,331	1,599	0	3,732	0	第一市場特会 ※1
(2)元年度当初予算に計上していた事業	188	62	31	0	31	
鉄道施設整備助成事業	188	62	31	0	31	※2
(3)2年度当初予算に計上している事業	27	19	0	0	1	
障害福祉分野におけるロボット等の導入支援事業	6	6	0	0	0	
病児・病後児保育事業の空き情報提供システムの構築	4	2	0	0	1	
保育所等における翻訳機等の導入	17	11	0	0	0	
合 計	10,518	4,106	124	6,181	36	

※1 国費は、京都府を通じて収入するため、予算上は府補助金で計上

※2 事業費は、市が助成する民間事業者の総事業費（国費・府費は民間事業者が直接収入）市の予算計上額は31百万円(すべて一般財源)

国の令和元年度補正予算（第1号）に計上された国費	4.3兆円
①災害からの復旧・復興と安全・安心の確保	2.3兆円
②経済の下振れリスクを乗り越えようとする者への重点支援	0.9兆円
③未来への投資と東京オリンピック・パラリンピック後も見据えた経済活力の維持・向上	1.1兆円

(2) 新型コロナウイルス感染症対策

一般会計 1,020,000千円

(保健福祉局)

新型コロナウイルス感染症に対する相談体制の強化等 20,000千円

府市連携の下、相談体制の強化や患者発生に備えた医療等に要する経費を補正する。

(産業観光局)

融資制度預託金（新型コロナウイルス対応緊急資金） 1,000,000千円
**（当該融資制度の利用に際し、債務保証を行う京都信用保証協会への損失補てん金
債務負担行為設定 令和元年度～22年度）**

新型コロナウイルス感染症の発生により、売上高が減少するなど、経営に影響を受けた中小企業者等を対象にした融資制度「新型コロナウイルス対応緊急資金」を府市協調で創設する。

(3) 社会福祉関連経費等の過不足調整など

ア 一般会計 115,000千円

(保健福祉局)

国庫支出金返還金（生活保護費） 283,300千円

平成30年度の生活保護費等国庫支出金に超過収入があったため、国庫返還を行う。

生活保護扶助費 Δ400,000千円

[予算現額 72,735,000千円 執行見込額 72,335,000千円]

医療扶助費等が当初見込を下回るため、減額補正を行う。

後期高齢者医療広域連合負担金（療養給付費負担金） 124,100千円

平成30年度の後期高齢者医療広域連合負担金の精算に伴い、療養給付費負担金に不足が生じたため、追加納付を行う。

障害者自立支援給付費 123,000千円

[予算現額 32,242,396千円 執行見込額 32,365,396千円]

介護給付費等が見込より多く、不足が生じるため増額補正を行う。

難病特定医療費 371,000千円

[予算現額 2,243,233千円 執行見込額 2,614,233千円]

医療費が見込より多く、不足が生じるため増額補正を行う。

国民健康保険事業特別会計繰出金 76,000千円

[予算現額 8,956,000 千円 執行見込額 9,032,000 千円]

国民健康保険料の法定軽減の対象となる被保険者が見込より多く、不足が生じるため増額補正を行う。

高齢者福祉施設非常用自家発電設備整備助成 10,000千円

高齢者福祉施設の防災・減災対策を推進するため、国の補助金（高齢者施設等の非常用自家発電設備整備事業等）を活用し、社会福祉法人等が実施する非常用自家発電設備の整備に対する助成を行う。

京都市住吉山墓地における墳墓の改葬誤りによる損害賠償 600千円

平成24年度から平成26年度にかけて実施した無縁改葬において、住吉山墓地内に設置されていた墳墓を本市の誤認により撤去したため、被害を受けた使用者に賠償金の支払いを行う。

(行財政局)

職員退職手当 180,000千円

[予算現額 6,305,508 千円 執行見込額 6,485,508 千円]

特例退職者が見込より多く、職員退職手当に不足が生じるため増額補正を行う。

市税還付金 47,000千円

[予算現額 1,292,000 千円 執行見込額 1,339,000 千円]

市税還付金が見込より多く、不足が生じるため増額補正を行う。

公債費 △670,000千円

[予算現額 11,509,913 千円 執行見込額 10,839,913 千円]

市債発行における利率が見込を下回ったことにより、不用が生じる公債費（利子の支払いに要する経費）の減額補正を行う。

(都市計画局)

公共施設の耐震診断書再点検 △30,000千円

耐震診断書の再点検について、一般財団法人 建築研究協会の負担により実施されるため、減額補正を行う。

八条市営住宅団地再生事業

債務負担行為設定（令和2年度～12年度 115,769千円）

八条市営住宅団地再生事業について、労務単価・資材単価の上昇及び消費税率引上げに伴う契約金額の変更に当たり、必要な債務負担行為を設定する。

イ 特別会計 5,000千円

(保健福祉局)

国民健康保険事業特別会計における財源更正(76,000千円)

法定軽減対象被保険者の増加に伴う保険料収入額の減少について、財源更正を行う。(一般会計繰入金:76,000千円, 保険料収入:△76,000千円)

国・府支出金返還金(介護保険) 675,000千円

平成30年度の介護給付費等国庫支出金及び府支出金に超過収入があったため、国庫等返還を行う。

(行財政局)

市公債特別会計 △670,000千円

[予算現額23,025,542千円 執行見込額22,355,542千円]

市債発行における利率が見込を下回ったため、減額補正を行う。

4 補正予算の財源内訳

(1) 一般会計

道路、橋りょう、河川の防災・減災対策等	1,081
学校施設環境改善	103
GIGAスクール構想の実現	1,230
就職氷河期世代活躍支援事業	12
新型コロナウイルス感染症対策	10
生活保護扶助費	△300
障害者自立支援給付費	39
難病特定医療費	185
国民健康保険事業特別会計繰出金	17
高齢者福祉施設非常用自家発電設備整備助成	10

道路、橋りょう、河川の防災・減災対策等	93
障害者自立支援給付費	20
国民健康保険事業特別会計繰出金	40

道路、橋りょう、河川の防災・減災対策等	998
学校施設環境改善	221
GIGAスクール構想の実現	1,230

(単位：百万円)

項目	補正額	内 容
特定財源	8,233	国庫支出金2,387, 府支出金153, 繰入金65, 諸収入1,000, 市債2,449, 公債償還基金(特別の財源対策) 2,180
一般財源	△2,126	市税3,460, 地方交付税△2,986, 臨時財政対策債△3,440, 減収補てん債282, 財政調整基金558
合計	6,107	障害者自立支援給付費

<経済対策> 4
 就職氷河期世代就職支援事業 4
 <新型コロナウイルス感染症対策> 10
 新型コロナウイルス感染症対策 10
 <社会福祉関連その他> 710
 国庫支出金返還金(生活保護費) 283, 生活保護扶助費△100
 後期高齢者医療広域連合負担金(療養給付費負担金) 124
 難病特定医療費 186, 国民健康保険事業特別会計繰出金 19
 京都市住吉山墓地における墳墓の改葬誤りによる損害賠償 1
 職員退職手当180, 市税還付金 47, 公共施設の耐震診断書再点検△30
 <地方交付税等の減収による収支不足の補てん> △2,850

融資制度預託金(新型コロナウイルス対応緊急資金)

<通常補正>

歳出(所要一財)	724	歳入(一般財源)	558	歳入歳出差額
経済対策	4			
新型コロナウイルス対策	10	財政調整基金	558	△166
社会福祉関連経費その他	710			

<補正財源の不足と一般財源収入の補てんのための補正>

歳入	△2,850	歳出(所要一財)	△670	歳入歳出差額
通常補正の財源不足	△166	公債費(利子の減)の減額補正	△670	△2,180
地方交付税(臨時財政対策債含む)の減額補正	△6,426			
市税の増額補正	3,460			
減収補てん債	282			

(市税の増額補正の内訳
 個人市民税 2,700, 法人市民税 300
 固定資産税 400, 都市計画税 60)

公債償還基金の取崩しの追加 2,180

※ 2月補正後の特別の財源対策 150億円
 公債償還基金の取崩し 87億円(補正前65億円)
 行政改革推進債の発行 63億円

＜参考＞ 財政調整基金の状況

(単位：百万円)

平成30年度末 残高 (A)	令和元年度中					元年度末 残高見込額 (A+B-C)	
	積立見込額 (B)	取崩額 (C)					
		当初予算	5月補正	9月補正	11月補正		2月補正
3,557	(※) 366	1,860	30	872	603	558	0

※ 平成30年度決算における実質収支黒字の積立て364百万円，運用益2百万円

(2) 特別会計

(単位：百万円)

会計名	経費	特定財源	左の内訳
国民健康保険事業特別会計	0	0	国民健康保険料収入△76 繰入金 76
介護保険事業特別会計	675	675	繰越金 573 諸収入 102
中央卸売市場第一市場特別会計	5,331	5,331	府補助金 1,599 市債 3,732
市公債特別会計	△670	△670	一般会計繰入金△670

5 繰越明許費補正

関係機関との協議に時間を要したこと等により繰越明許費を設定する。

(1) 一般会計

(環境政策局) (49,800千円)

公共施設ブロック塀安全対策	19,800千円
東北部クリーンセンター大規模改修工事	30,000千円

(行財政局) (20,000千円)

地籍調査事業	20,000千円
--------	----------

(総合企画局) (767,700千円)

大型汎用コンピュータのオープン化の推進	767,700千円
---------------------	-----------

(文化市民局) (889,000千円)

京都市京セラ美術館付属棟(桜水館)整備	46,000千円
史跡公有化及び仮整備事業	45,000千円
たけびしスタジアム京都第1種公認継続に向けた改修工事	390,000千円
西京極総合運動公園の計画的改修 (たけびしスタジアム京都諸室・トイレ改修)	113,000千円
横大路運動公園の再整備・防災機能強化	91,000千円
伏見北堀公園地域体育館屋根改修工事	66,000千円
公共施設ブロック塀安全対策	138,000千円

(産業観光局) (681,000千円)

京都市プレミアム付商品券を活用した消費喚起・生活支援対策	646,000千円
就職氷河期世代活躍支援事業	16,000千円
林業用施設災害復旧事業	19,000千円

(保健福祉局) (172,100千円)

高齢者福祉施設非常用自家発電設備整備助成	10,000千円
生活保護制度改正対応に係るシステム改修	9,200千円
新型コロナウイルス感染症対策	13,900千円
公共施設ブロック塀安全対策	106,000千円
地域リハビリテーション推進センター, こころの健康増進センター 及び児童福祉センターの一体化整備事業	15,000千円
衛生環境研究所と京都府保健環境研究所の共同化による整備事業	18,000千円

(子ども若者はぐくみ局) (415,000千円)

公共施設ブロック塀安全対策	33,000千円
民間保育所等整備助成	380,000千円
児童の移動経路における交通安全対策事業	2,000千円

(都市計画局) (530,700千円)

洛西口～桂駅間プロジェクトの推進	353,000千円
駅等のバリアフリー化の推進	133,700千円
鉄道施設整備助成事業	40,800千円
大規模地震に備えた市営住宅入居者の安全確保事業	3,200千円

(建設局) (8,009,200千円)

御菌橋整備事業	417,185千円
三条通(三条大橋～河原町通)無電柱化事業	317,000千円
鴨川東岸線(第三工区)整備事業	279,236千円
普通河川緊急対策事業(竹田川)	190,500千円
公共施設ブロック塀安全対策	155,222千円 など

(教育委員会) (2,460,000千円)

GIGAスクール構想の実現	2,460,000千円
---------------	-------------

(消防局) (120,000千円)

北消防署移転整備	120,000千円
----------	-----------

(2) 特別会計

(産業観光局)

中央卸売市場第一市場特別会計 (5,331,000千円)

中央市場施設再整備事業	5,331,000千円
-------------	-------------